



At the heart of the image

# Information

網中健太氏が感情を引き出すポートレートの撮影テクニックについて語る動画をスペシャルコンテンツ「写真家×NIKKOR 私のNIKKOR Vol.42」内で公開

中望遠レンズ「AF-S NIKKOR 85mm f/1.8G」を用いて  
伊豆大島を背景に被写体の心情を表現したポートレートを撮影

2016年3月22日

株式会社ニコンイメージングジャパン（社長：五代 厚司、東京都港区）は、デジタル一眼レフカメラ用レンズ「NIKKOR」の魅力を伝えるスペシャルコンテンツ「写真家×NIKKOR 私のNIKKOR Vol.42 網中健太」内で、網中健太氏が「AF-S NIKKOR 85mm f/1.8G」の魅力や撮影テクニックについて語るインタビュー動画を公開しました。

URL : [http://www.nikon-image.com/sp/my\\_nikkor/aminaka.html](http://www.nikon-image.com/sp/my_nikkor/aminaka.html)

インタビュー動画 URL : <https://youtu.be/eJoOv71742E>



「網中健太氏 インタビュー動画」



「動画内にてポートレート撮影のテクニックを紹介」

「写真家×NIKKOR 私のNIKKOR」は毎回、気鋭のプロ写真家が、テーマとなるNIKKOR レンズで撮影し、自らの作品に対する想いや撮影時の狙い、その要求にNIKKOR レンズがどのように応えてくれたかを、インタビュー動画とともに解説するコンテンツです。

●「写真家×NIKKOR 私のNIKKOR Vol.42 網中健太」について

Vol.42では網中健太氏が、伊豆大島にある伊豆七島最大の島で、中央にそびえる三原山を題材に、被写体のパーソナルスペースにもう一步踏み込める中望遠の画角とコンパクトさと、高い解像力と自然で美しいボケ味が決め手の大口径で明るい開放F値の中望遠レンズ「AF-S NIKKOR 85mm f/1.8G」での撮影を行いました。ボディーは髪の毛の一本、肌の質感まで高画素で描写するD810を使用。撮影地の伊豆大島は東京都でありながら、粗削りな自然の力に満ちた島で、鋭く切り立つ崖、巨大な断層、黒い砂の海岸、火山の裾野に広がる砂漠など、海の中の活火山が作りあげた地形は実に多様性に富んでいます。



「写真家×NIKKOR 私のNIKKOR Vol.42 網中健太」

今回のメイン作品で、被写体に選ばれたのは日本とパキスタン、フランスの血を受け継ぐ17歳の高校生。撮影は伊豆大島の北部にある椿花ガーデンで行われ、木々の間から漏れる西日が顔にあたり、刻々と変化しながら美しい陰影を生み出しました。時間とともに落ちていく光量の中、絞り開放で捉えられた被写体の表情。ピント面の眼は長いまつ毛の先まで高解像に描写され、肌や髪の毛の質感も見事に表現されています。そして花の絨毯の手前から奥へのなだらかで美しいボケがその表情をさらに印象的にしています。日々新しい経験を重ね成長していく17歳の心の奥まで写しとられていると感じました。まさに、少年の面影を残しながら大人へと成長する彼の、豊かな表情と天性の明るさを捉えた、見事な一枚となりました。

● 「AF-S NIKKOR 85mm f/1.8G」について

大口径ならではのボケを活かしたポートレート撮影が気軽に楽しめる、中望遠単焦点レンズ。高い解像力と美しく自然なボケを両立し、ポートレート撮影に最適です。さらに約350gの超軽量かつ大口径ながら非常にコンパクトな設計。

高級感のある外観デザインも魅力です。



「AF-S NIKKOR 85mm f/1.8G」製品情報：

[http://www.nikon-image.com/products/lens/nikkor/af-s\\_nikkor\\_85mm\\_f18g/](http://www.nikon-image.com/products/lens/nikkor/af-s_nikkor_85mm_f18g/)

● 網中健太（あみなか けんた）氏について

1981年、東京生まれ。幼少期をインドのムンバイにて過ごす。日本大学芸術学部写真学科在学中に写真家茂手木秀行氏のアシスタントを務め、2005年に独立。2013年SECESSION所属。写真集に、尾上松也写真集「G 尾上松也」、山崎賢人写真集「THE KENTOS」、松岡広大写真集「liberal」などがある、その他、大宮エリー作品集「思いを伝えるということ展のすべて」、「EMOTIONAL JOURNEY」を撮影。



網中健太 ウェブサイト <http://www.kentaaminaka.com/>

---

この件に関する問い合わせ先

● 報道関係の問い合わせ先

株式会社ニコンイメージングジャパン 広報宣伝部  
108-6290 東京都港区港南2-15-3 品川インターシティ C棟

萩原・丸山  
03-6718-3016

株式会社ニコンイメージングジャパン PR事務局  
ビルコム株式会社 担当：九鬼・若尾

TEL：03-5413-2411/FAX：03-5413-2412/Mail：nikon-press@bil.jp

● お客様の問い合わせ先

ニコンカスタマーサポートセンター ナビダイヤル

0570-02-8000

---